

輸出事業計画

※申請者名：熊本県経済農業協同組合連合会、品目：スイカ

1. 輸出における現状と課題

【現状】

熊本県の農業産出額は全国第5位の3,407億円(令和2年)であり、そのうちスイカは121億円(令和元年)を占め、本県野菜産出額第3位の生産品目である。

【課題】

本県のスイカは産地規模が縮小しており、作付面積は平成27年産の1,490haから令和2年産の1,290haへと5年間で約13%減少している。また、海外現地では中華系消費者を中心に親しまれている品目であるが、中国産やマレーシア産の安価なスイカが浸透しており、輸送費削減やカット販売のニーズへの対応に取り組む必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産・加工】の課題と取組内容

・現在、春スイカのみ輸出していることもあり、露出・認知度が低いのが課題である。輸出用秋のスイカ生産に意欲ある生産者に対し、JA熊本経済連が輸出用生産者としてサポートを行い、ハウス・暖房設備導入を前提に秋スイカの生産出荷・輸出する体制の構築を図る。

【加工・流通】の課題と取組内容

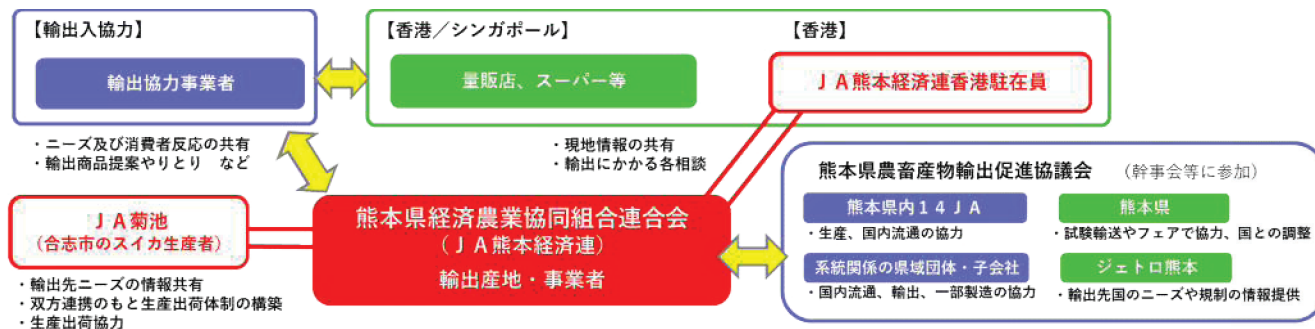
・船便での長期輸送、エチレングスの影響による鮮度・品質の低下が課題であることから、鮮度保持シートの活用をはじめ、エチレングス対策の確立・導入により食味、食感の品質維持を図る。

・一玉販売ではなくカットタイプ販売のニーズがあるものの、カットタイプに対応できる体制の構築ができていない。現地での幅広いスイカ需要に対応するため、受け手側輸入業者とも相談しながら、輸出前又は輸出先現地でのカット処理を行い販売する体制の構築を図る。

【販売】の課題と取組内容

・関係機関と連携しながら、販売促進資材の追加や現地フェア・商談会でのプロモーション活動を行い、熊本県産スイカの認知度・評価向上を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

品目	現状：令和2年度（輸出先国）	目標：令和6年度（輸出先国）
スイカ	2,109,000円（香港・シンガポール）	3,420,000円（香港・シンガポール）